

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1590400121		
法人名	株式会社 ふれあいの杜		
事業所名	グループホームふれあいの杜三条		
所在地	新潟県三条市大面493-1		
自己評価作成日	令和2年10月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/15/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=1590400121-00&ServiceCd=320&Type=search
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	公益社団法人新潟県介護福祉士会		
所在地	新潟県新潟市中央区上所2-2-2		
訪問調査日	令和2年11月30日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

① 移り行く季節が感じられる山々や田園風景が臨める環境下で、古き良き慣習を大切にする地域で暮らす方々と散歩や地域行事を通して交流を図っている。開所から5年目を迎え、馴染みの関係性が構築されつつある。三条市の支援事業の委託を受けて、毎月第2日曜日に認知症カフェを開催し、様々なプログラムを介して地域の方々、認知症の方やご家族の憩いの場として提供している。

② 施設内は明るい色調の木材を組み入れた温かみのある内観となっている。居間兼食堂にはカウンター式のキッチンが備えられ、職員と入居者様が一緒に食事作りに参加できる環境を整えている。同じフロア内には畳敷きの小上がりが設置しており、入居者様が個々に思い通りに過ごせるよう配慮している。居室は全て個室でプライベートな空間に馴染みの生活スタイルを取り入れている。個別支援にも重点を置いており、趣味活動や外出支援に生かしている。

③ 入居者様とご家族の関係性を重視した支援を行っている。新型コロナ感染の影響で面会を自粛せざるを得ない状況下において、電話やオンラインの活用により入居者様とご家族の繋がりを大事にしている。緊急事態宣言解除後は、感染防止対策に配慮しながら面会を予約制にてご利用頂いている。職員は入居者様やご家族にとっていつでも気軽に相談できる関係性が構築されている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○地域の事業所としての役割推進

事業所玄関前には四季折々に色づく山々が広がり、自然と共に作られた地域住民の暮らしに共存しながら静かな生活が送られている。開設5年目を迎える事業所ではあるが、地域の年中行事にはお誘いがかかり、利用者と共に参加することが通例となっている。また近隣住民からは時折野菜が届き、近所に散歩に出かければ気軽に挨拶が交わされるなど馴染みの関係性が出来ている。事業所にとっては大切な地域のサポート役である運営推進委員会では様々な役割を持った多くの住民の参加があり、活発な意見交換が行われている。今年度は災害避難場所の提供を提案されるなど住民との協力的体制も強化しつつある。昨年からは開始された「認知症カフェ」は事業所ならではのプログラムを用意して住民参加を募るなど、しっかりと地域の中にある福祉事業所としての役割を果たしている。これは管理者はじめ全職員の専門職として役割を意識した姿勢と実践が作り上げてきた成果と思われる。今後ますます地域の事業所としての役割推進を期待したい。

○利用者主体とする働きやすい職場環境

一人ひとりの職員は、今まで積み重ねてきた介護経験を活かしながら、日々、利用者の笑顔が広がるよう業務や支援について意見を出し合い意欲的に取り組んでいる。お互いに分かり合える意見を聞いてもらえる風通しの良い職場風土がある。ユニットの話し合いや全体会議を通し、できる事は協力し挑戦する強い姿勢が感じられる。利用者を把握できるよう見直しされたケース記録は、利用者の表情やエピソードを記入したり、ふとしたつづみや日常生活の中の言葉も記録されている。それにより、利用者の気持ちを察し、やりたいこと、興味のあることなどを理解することに繋がっている。また、利用者のペースに合わせたドライブ・戸外のお茶会等は、利用者の思いに寄り添える支援となっている。職員一人ひとりの良好な関係がサービスの質の向上と働きやすい職場環境をもたらしている。